



高リスク：早急な改善が必要。ネット依存傾向が非常に強い
中リスク：要注意。ネット利用方法をもう一度よく考え直す必要あり

令和3年10月、市内の小・中学生を対象に「静岡県
ネット依存度判定システム」でネット依存度のセルフ
チェックを実施したところ、小・中学生ともに半数近く
の児童にネット依存の傾向があると判定されました。

市内小・中学生のネット依存の現状

子どもたちにとって

身近な存在となったインターネット

社会において情報の検索・収集やインターネット接続
端末を使いこなす力が必要とされている中、市内の
小・中学校では児童・生徒にタブレットを1人1台ず
つ配布し、学習に必要な情報を収集したり自分の考え
を発信したりするなど、インターネットを活用した学
習に取り組んでいます。

子どもたちとインターネット

〜知っていますか？ネットのリスクと依存症〜

市では、子どもたちがネット利用のメリットを享受しつつも、その危険性を理解して適
切な判断ができるよう、学校・家庭・地域と連携して様々な取組を行っています。

◎学校教育課指導係 TEL066-3222
生涯学習課生涯学習係 TEL066-3191

インターネットに潜む様々なリスク

インターネット上には多くの有用な情報が存在する
一方、子どもたちの人格形成に悪影響を及ぼすものや犯
罪に巻き込まれる恐れのある書き込みなど、**有害な情報
も数多く存在**しています。

また、インターネットを介したいじめや迷惑行為など、
マナーやルールに反した利用方法により、**子どもたち自
身が犯罪加害者となる事例**も全国的に発生しています。

さらに、スマホなどの**インターネット接続端末を長時
間使い続けることで、心身にも支障**が出るのが専門家
から報告されています。

ネット社会でのリスク

- ・不適切なサイトの閲覧
- ・不適切な情報の発信
- ・誹謗中傷
- ・児童ポルノの被害
- ・著作権の侵害
- ・ゲームなどへの高額課金
- ・SNS利用に起因する犯罪

依存によるリスク

- ・身体への影響（体力・視力・聴力の
低下、頭痛、睡眠不足など）
- ・イライラして攻撃的になる
- ・時間を管理できなくなる
- ・意欲や関心の低下

学力低下や人間
関係のトラブル
につながる

子どもが被害者にも
加害者にもなる可能性
がある

上手に付き合っていくために

市では、子どもたちがインターネットと上手に付き
合っていくけるよう、次のとおり啓発活動を行っていき
ます。家庭や地域でもぜひ一緒に考えてみてください。

【学校を取り組むこと】

- ・ネット依存度調査の継続実施
- ・ネット依存をテーマとした講座の開催（中学1年生対象）
- ・ネットリテラシー（正しく使いこなす）教育の実施

【家庭や地域でお願いしたいこと】

- ・親子でスマホやゲーム機の使用ルールを決める
- ・月に1回はネット利用をテーマに親子で会話をする
- ・家庭や学校以外で子どもと接する大人もネットに潜む
リスクを理解して子どもに関わる
- ・地域の大人からもあいさつなどを通して子どもに声
を掛け、子どもの実世界での「コミュニケーション」を広げる
- ・子どもにオンラインではない実体験（自然体験、スポー
ツ、芸術、ボランティア活動など）の機会を提供する

賢く使うために 「知ろう・考えよう」

スマホやゲームなど、インターネットの利用をコント
ロールできるのは自分
だけです。危険を知り、
安全で安心な使い方
について、大人も子
どもも、みんなで考
えてみましょう。



NPO法人 浜松子どもとメディアリテラシー研究所 代表
長澤弘子 さん

※長澤さんにはメディアが心や身体に与える影響についての講話を
市内の小・中学校で実施していただいています。